



2011年9月15日

各 位

|       |                    |
|-------|--------------------|
| 会社名   | 小野薬品工業株式会社         |
| 代表者   | 代表取締役社長 相良 暁       |
| コード番号 | 4528               |
| 東証・大証 | (各第一部)             |
| 問合わせ先 | 常務執行役員広報室長 森本公也    |
|       | TEL : 06-6263-5670 |
|       | FAX : 06-6263-2950 |

### 米国 KAI 社とのライセンス契約締結のお知らせ

小野薬品工業株式会社〔本社：大阪市中央区、代表取締役社長：相良暁〕（以下、当社）は、KAI Pharmaceuticals, Inc.〔米国カリフォルニア州サウスサンフランシスコ市、社長：Steven P James〕（以下、KAI 社）が維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症治療剤として米国で開発中のカルシウム受容体作動剤「KAI-4169（開発コード）」を日本で独占的に開発・商業化する権利を取得しましたので、お知らせします。

今回の契約締結に伴い、当社は KAI 社に対し、10 億円の契約一時金を支払うと共に、今後、開発の進捗に応じたマイルストーンを支払います。また、上市後は売上高の目標達成に応じたマイルストーンおよび売上高に応じたロイヤルティを支払います。

二次性副甲状腺機能亢進症は、慢性腎不全の合併症のひとつで、副甲状腺から副甲状腺ホルモン（PTH）が過剰に分泌される病態です。PTH が過剰に分泌されることにより、骨からのリンおよびカルシウムの血中への流出が促進され、骨痛や関節痛などの症状が引き起こされます。また、骨から溶け出したリンおよびカルシウムが全身の心血管系に蓄積することで動脈硬化などの心血管系障害の発症リスクが高まり、生命予後に影響を及ぼすことが報告されています。

KAI-4169 は、副甲状腺にあるカルシウム受容体に作用することで、PTH の過剰な分泌を抑制し、血中のカルシウム値およびリン値を低下させることが期待されます。また、KAI-4169 は注射剤として開発されており、透析ルートからの投与が可能であるため、確実な投与が可能となり、また透析患者さんの服薬の負担を軽減することが期待されます。

なお、KAI 社は KAI-4169 について、人工透析を受けている末期腎不全患者を対象とした第Ⅱ相臨床試験を米国にて実施中で、当該試験は 2011 年下半期に終了予定です。

※本ライセンス契約の締結が当社の当期連結業績（2012 年 3 月期）に与える影響は軽微です。

## KAI Pharmaceuticals, Inc.について

KAI 社はカリフォルニア州サウスサンフランシスコ市に本社を置くバイオ医薬品企業です。

KAI 社は、KAI-4169 を含む複数の新薬候補化合物を有しており、その開発に積極的に取り組んでおります。なお、KAI 社経営陣は、これまでに新薬の開発と商業化に関して多くの実績を有しています。

KAI 社は主要な複数のベンチャーファンドから支援を受けており、これまでに 6,300 万ドルの資金を調達しております。詳細は [www.kaipharma.com](http://www.kaipharma.com) をご覧ください。